

「医療圏の広域化」と「秋田県の医療」に関する意識調査

全回答数
407

(電子申請・届出サービス231件、FAX48件、その他(郵送・電子メール等)128件)

回答者の年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	計
2	67	57	109	114	46	10	1	1	407
0.5%	16.5%	14.0%	26.8%	28.0%	11.3%	2.5%	0.2%	0.2%	100.0%

回答者の居住地

秋田市	能代市	横手市	大館市	男鹿市	湯沢市	鹿角市	由利本荘市	潟上市	
85	16	7	9	5	40	18	8	15	
20.9%	3.9%	1.7%	2.2%	1.2%	9.8%	4.4%	2.0%	3.7%	
大仙市	北秋田市	にかほ市	仙北市	小坂町	上小阿仁村	藤里町	三種町	八峰町	
31	67	22	1	1	0	11	2	1	
7.6%	16.5%	5.4%	0.2%	0.2%	0.0%	2.7%	0.5%	0.2%	
五城目町	八郎潟町	井川町	大潟村	美郷町	羽後町	東成瀬村	県外	不明	計
3	3	3	3	4	34	9	7	2	407
0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	1.0%	8.4%	2.2%	1.7%	0.5%	100.0%

(1)年齢については、50代、40代の回答が最多であるほか、20代以下からも一定の回答数が有り、将来の秋田県の医療を考える上で幅広い年齢層から回答を得ることができた。
 (2)居住地については、上小阿仁村を除く24市町村から回答を得たほか、県外からの回答もあった。秋田市の次に多いのは、北秋田市、湯沢市、羽後町などであり、それらの地域における関心の高さがうかがえる。

Q1 二次医療圏の広域化について、どのようなイメージをお持ちですか。(複数回答可能)

(n=407)

病院等が遠くなる	228	56.0%
人口減少下において必要なものだと思う	193	47.4%
病院等の再編や統廃合が進む	190	46.7%
病院等が少なくなる	134	32.9%
広域化により効率的な医療提供が期待される	86	21.1%
広域化して何が変わるのかが分からない	68	16.7%
その他	16	3.9%
無回答・無効	0	0.0%
計	915	

(1)回答の過半数を超えているのは、「病院等が遠くなる」である。
 なお、「病院等が遠くなる」、「病院等の再編や統廃合が進む」、「病院等が少なくなる」のいずれか一つを選択している人は407名中314(77%)名おり、二次医療圏の広域化が、身近な病院に影響を与えるのではないかと、といった不安を抱えている人が多いことがうかがえる。
 (2)「人口減少下において必要なものである」といった理解を示す層も全回答数の47.4%と、一定数いる。
 (3)「広域化して何が変わるのかが分からない」も一定数(68(16.7%))おり、今後、県民向け説明会の開催等を通じて、見直しの趣旨等の周知を図っていく必要がある。

Q2 広域化するとどのような効果が期待できると思いますか。(複数回答可能)

(n=405)

人口が減少しても、病院同士の役割分担が進めば身近な医療が守られていく	172	42.5%
医師を確保する効果が期待できる	145	35.8%
特に効果はないと思う	89	22.0%
診療を受けるときの病院等の選択肢が広がる	83	20.5%
その他	30	7.4%
無回答・無効	2	0.5%
計	521	

(1)二次医療圏の広域化におけるイメージと異なり、過半数を超えている回答はない。
 (2)最も多いのが「人口が減少しても、病院同士の役割分担が進めば身近な医療が守られていく」で、405中172(42.5%)が選択している。

Q3 広域化する場合、どのようなことが必要だと思いますか。
 (必要だと思うことを2つまで選択してください。)

(n=398)

病院等までの公共交通機関や道路網が整備されている	202	50.8%
病院等の中で検査結果や治療内容などの患者の情報がしっかりと共有されている	174	43.7%
病院等の役割分担や、連携がしっかりと行われている	156	39.2%
デジタル技術を活用して遠く離れた場所でも診察を受ける体制が整っている	121	30.4%
往診や訪問診療などの在宅医療が充実している	67	16.8%
その他	22	5.5%
無回答・無効	9	2.3%
計	751	

(1)「病院等までの公共交通機関や道路網が整備されている」が過半数を超えており、最多である。
 (2)次いで多いのが、「病院等の中で検査結果や治療内容などの患者の情報がしっかりと共有されている」と「病院等の役割分担や、連携がしっかりと行われている」であり、医療機関の「役割分担と連携」の重要性が高いことが再確認できる。

Q4 医療機関を選ぶ際に、何を重視していますか。
 (特に重視していることを2つまで選択してください。)

(n=399)

信頼できる医師がいる・評判の良い医師がいること	276	69.2%
自宅や職場から近いこと	208	52.1%
高度な医療設備を備えていること	109	27.3%
夜間や休日に対応していること	89	22.3%
交通の便が良いこと	47	11.8%
診療科が多いこと	15	3.8%
特になし	1	0.3%
その他	9	2.3%
無回答・無効	8	2.0%
計	762	

(1)「信頼できる医師がいる・評判の良い医師がいること」が回答数の約7割を占めており、他の質問の選択肢と比較しても、とても高い。
 (2)その他、回答数の過半数を超えているのが「自宅や職場から近いこと」である。
 (3)それ以外の選択肢は回答数の3割にも達していない。

Q5 秋田県において、特に充実してほしいことは何ですか。
(特に充実してほしいことを2つまで選択してください。)

(n=397)

さまざまな症状に対応し必要に応じて専門医につなぐ総合診療(総合診療医による診療)	200	50.4%
24時間対応の救急医療	127	32.0%
認知症や呼吸器疾患、脳血管疾患など高齢者に多い疾患に対応した医療	91	22.9%
発熱や腹痛など一般的な症状に対応する休日や夜間の診療	89	22.4%
安全かつ安心して出産することのできる周産期医療体制	66	16.6%
訪問診療や往診、訪問看護などの在宅医療	53	13.4%
がんなどの進行に伴う体や心の痛みを和らげる緩和ケアや終末期医療	48	12.1%
長期治療に対応した療養型医療	45	11.3%
新型コロナウイルス感染症などの新興感染症対応	7	1.8%
その他	14	3.5%
無回答・無効	10	2.5%
計	750	

- (1)過半数を超えているのは、「さまざまな症状に対応し必要に応じて専門医につなぐ総合診療(総合診療医による診療)」のみである。
(2)「24時間対応の救急医療」はもっと回答数が多いものと見込んでいたが、397中127(32.0%)にとどまった。
(3)また、「新型コロナウイルス感染症などの新興感染症対応」は全体の回答数の1.8%にとどまった。

Q6 人口減少が進む中、秋田県の医療を充実させていくためにどのようなことに
取り組むべきだと思いますか。
(特に取り組むべきだと思うことを2つまで選択してください。)

(n=402)

医師や看護師など医療従事者の確保	264	65.7%
病院間の役割分担や連携を更に充実	135	33.6%
公共交通網の整備など、病院等までの交通手段の確保	131	32.6%
デジタル技術を活用した病院等から離れた場所でも受診できる体制の整備	99	24.6%
医療機関における検査結果や治療内容などの患者情報の共有	66	16.4%
介護サービスとの連携強化	50	12.4%
このままで良い	4	1.0%
その他	16	4.0%
無回答・無効	5	1.2%
計	770	

- (1)過半数を超えているのは、「医師や看護師など医療従事者の確保」のみである。
(2)次いで多いのは「病院間の役割分担や連携を更に充実」で、402中135(33.6%)であった。
(3)二次医療圏を広域化する上で必要なことで最多であった、「公共交通網の整備など、病院等までの交通手段の確保」はここでは402中131(32.6%)にとどまった。